

平成26年10月 9 日

10月定例所長会見における所長挨拶内容

- 所長の横村でございます。
- 福島第一原子力発電所の事故から3年以上が経過しておりますが、今もなお、福島県の皆さま、新潟県の皆さま、そして広く社会の皆さまに、大変なご心配とご迷惑をおかけし続けておりますことを、あらためて心よりお詫び申し上げます。
- 本日、私からは2点お話しをさせていただきます。
- まずは、発電所敷地内外で実施しております地質調査の状況についてです。

現在、敷地内では1～4号機側で立坑の掘削作業を、また敷地外では刈羽村村内においてトレンチの掘削作業とボーリング作業を鋭意実施しております。いずれの作業につきましても、特段の支障はなく、安全を最優先に、地質の状況を確認しながら丁寧に進めているところです。

また、他の電力会社における審査会合などの状況を踏まえ、追加作業として、敷地周辺において火山灰の調査を新たに実施することといたしました。調査地点は刈羽村と出雲崎町の2地点で、ボーリングなどにより火山灰を採取します。作業は、来週から開始し、半月程度で終了できると考えております。

追加調査として実施しておりますこれら現地作業につきましては、今月末の終了を目指して進めているところです。

現場の作業と並行して、収集したデータの解析や評価を進めており、先週末の原子力規制委員会の審査会合では α 、 β 断層に関するボーリング調査結果並びに5～7号機側の立坑調査結

果をご説明させていただいております。今後も評価状況を踏まえながら原子力規制委員会へご報告、ご説明をするなど、規制基準への適合性審査に真摯に対応してまいります。

○ 次に、新潟県と合同の原子力防災訓練についてです。

来月 11 日に新潟県の原子力防災訓練が開催される予定ですが、私どもも原子力事業者として本訓練に参加させていただきます。新潟県との合同の原子力防災訓練につきましては、昨年 3 月に引き続き行われるもので、福島第一原子力発電所の事故以降では 2 回目の開催となります。

当社におきましては、発電所内で対策本部内における情報収集や緊急時対応、関係各所への情報発信訓練などを実施いたします。また、発電所外においては、オフサイトセンターでの事業者としての役割の遂行、後方支援拠点の設置、対応訓練などを実施する予定です。

原子力防災訓練につきましては、当社内では月に 1 度総合訓練を実施するなど、繰り返し訓練を重ねてきており、緊急時対策要員一人ひとりが自らの役割を認識し、いざという時に備えてスキルアップを図ってきておりますが、このたびの訓練では、日頃の取り組みをあらためて見つめ直し、更に改善すべき点がないか、再確認をする機会にしたいと考えております。

また、地元自治体の皆さまと連携した訓練ともなりますので、プラントの状況をお伝えするという点についても重点をおいて訓練に臨みたいと考えております。

○ 本日、私からは以上です。

以 上